

平成26年8月期経営状況概要

(単位：千円)

項目	予算額+繰越	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	支出負担行為	対予算比
8. 水道事業収益	2,637,841	202,137	980,990	37.2%	1,656,851		
1. 営業収益	2,309,761	202,058	968,835	41.9%	1,340,926		
1. 給水収益	2,280,090	201,334	964,860	42.3%	1,315,230		
2. 受託工事収益	0	0	0		0		
3. その他営業収益	29,671	724	3,976	13.4%	25,695		
2. 営業外収益	327,225	79	12,155	3.7%	315,070		
3. 特別利益	855	0	0	0.0%	855		
9. 水道事業費用	2,798,117	136,881	753,859	26.9%	2,044,258	1,013,325	36.2%
1. 営業費用	2,104,212	78,788	303,083	14.4%	1,801,129	561,940	26.7%
1. 原水及び浄水費	459,618	30,151	118,151	25.7%	341,467	224,881	48.9%
2. 配水費	277,677	22,607	73,560	26.5%	204,117	124,005	44.7%
3. 給水費	105,297	7,618	28,303	26.9%	76,994	40,038	38.0%
4. 受託工事費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
5. 業務費	119,389	9,497	39,721	33.3%	79,668	106,010	88.8%
6. 総係費	144,309	8,914	43,349	30.0%	100,960	67,007	46.4%
8. 減価償却費	955,368	0	0	0.0%	955,368	0	0.0%
9. 資産減耗費	42,554	0	0	0.0%	42,554	0	0.0%
10. その他営業費用	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 営業外費用	279,951	58,093	58,093	20.8%	221,858	58,093	20.8%
3. 特別損失	393,954	0	392,683	99.7%	1,271	393,292	99.8%
4. 予備費	20,000	0	0		20,000	0	
10. 資本的収入	1,667,570	4,639	22,708	1.4%	1,644,862		
1. 企業債	951,100	0	0	0.0%	951,100		
2. 負担金・補償金	216,665	2,436	4,842	2.2%	211,823		
3. 補助金	186,978	0	10,878	5.8%	176,100		
4. 出資金	298,496	0	0	0.0%	298,496		
5. 加入金	14,331	2,203	6,988	48.8%	7,343		
9. その他資本的収入	0	0	0		0		
11. 資本的支出	2,703,401	144,241	303,454	11.2%	2,399,947	886,742	32.8%
1. 建設改良費	2,092,702	9,778	168,991	8.1%	1,923,711	886,742	42.4%
1. 取水施設整備費	231,341	0	0	0.0%	231,341	118,369	51.2%
2. 浄水施設整備費	165,929	0	1,714	1.0%	164,215	75,154	45.3%
3. 配給水施設整備費	1,692,472	9,778	167,277	9.9%	1,525,195	693,219	41.0%
6. 管理施設整備費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
7. 消防設備整備費	2,960	0	0	0.0%	2,960	0	0.0%
8. 災害復旧費	0	0	0		0	0	#DIV/0!
2. 企業債償還金	610,699	134,463	134,463	22.0%	476,236		0.0%
12. たな卸し資産購入限度額	37,513	8,299	14,073	37.5%	23,440		0.0%
①有収水量	8,147,300	719,834	3,440,022	42.2%	4,707,278		
②供給単価	279.86	279.69	280.48	100.2%	△ 0.62		
③給水原価	258.40	190.16	104.99	40.6%	153.41		
人件費	245,097	39,706	92,766	37.8%	152,331		
1. 収益的収支	212,198	34,296	78,416	37.0%	133,782		
1. 職員給与費	210,512	34,091	77,699	36.9%	132,813		
2. 特別職(報酬、賃金等)	1,686	204	717	42.5%	969		
2. 資本的収支	32,899	5,411	14,350	43.6%	18,549		
* 職員給与費	243,411	39,502	92,050	37.8%	151,361		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	16.9%	8.1%				
2. 全職員	10.7%	19.6%	9.5%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	39,649,660	39,868,652	218,992	
*減価償却累計額	16,199,600	16,199,600	0	
B. 流動資産	2,747,729	3,026,894	279,165	
1. 現金預金	2,277,801	2,619,937	342,136	
2. 未収金	320,868	233,121	△ 87,748	
3. その他	149,059	173,836	24,777	貯蔵品・前払い金等
4. 貸倒引当金	△ 500	△ 500	0	
C. 繰延勘定	0	0	0	H26年度より廃止
D. 水道事業費用	377,200	738,837	361,637	
1. 営業費用	0	288,105	288,105	
2. 営業外費用	0	58,093	58,093	
3. 特別損失	377,200	392,639	15,439	
1. 借方合計=A+B+C+D	45,284,940	46,144,735	859,794	+長期前受金収益化累計額
E. 固定負債	10,828,484	10,836,563	8,079	
1. 企業債	10,404,784	10,412,863	8,079	
2. 引当金	423,700	423,700	0	
F. 流動負債	1,086,210	828,500	△ 257,710	
1. 企業債	606,244	476,233	△ 130,011	
2. 未払金	313,626	229,981	△ 83,645	3. 未払消費税含む
3. 資本的収入整理勘定	124,923	68	△ 124,855	・H26.6から前受金のみ
4. その他流動負債	41,416	122,217	80,801	
①下水道預り金	0	10,915	10,915	
②水道料金預り金	23	20	△ 3	
③その他	41,393	111,282	69,889	・仮受消費税他
G. 繰延収益	8,662,885	8,858,846	195,961	
1. 長期前受金	8,662,885	8,858,846	195,961	
* // 収益化累計額	2,510,352	2,510,352	0	
H. 資本金	5,845,462	5,845,462	0	
1. 自己資本金	5,845,462	5,845,462	0	・固有、繰入(出資)、組入
2. 借入資本金	0	0	0	=企業債元金
J. 剰余金	2,661,799	2,661,799	0	
1. 資本剰余金	14,922	14,922	0	・補助金、負担金、補償金、加入金等
2. 利益剰余金	2,646,878	2,646,878	0	
K. 水道事業収益	0	913,465	913,465	
1. 営業収益	0	902,154	902,154	
2. 営業外収益	0	11,312	11,312	
3. 特別利益	0	0	0	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	45,284,940	46,144,735	663,833	+減価償却累計額
a. 供給単価(円、銭)	261.10	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価(円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除		
①実数値	100.64	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	324.50	原価算入額に資本費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	75.91%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	83.35%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	365.35%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	316.23%	=現金預金÷流動負債		

* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成26年 8月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,421	152,033	151,500	151,263	533	770
2 調定水量	m ³	715,605	3,417,096	3,393,300	3,415,362	23,796	1,734
3 調定料金(税抜)	円	186,420,038	898,178,932	889,500,000	894,415,223	8,678,932	3,763,709
4 口振加入件数	件	25,513	127,583	-	127,523	-	60

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	83,680	-	83,730	△ 50
6 給水件数	件	30,298	-	30,193	105
7 開栓処理件数	件	221	1,471	1,436	35
8 閉栓処理件数	件	216	1,190	1,111	79
9 給水工事設計審査	件	65	379	425	△ 46
10 給水工事竣工検査	件	74	466	440	26
11 経年メーター交換	件	427	2,024	1,627	397
12 メーター口径変更	件	5	31	55	△ 24
13 月末停止件数	件	△ 4	114	110	4

3 料金徴収関係

項目	A 当期末未収額	B 収納率	C 前年同期未収額	D 収納率
14 当年度分	211,761,274 円	78.05 %	199,506,500 円	78.78 %
15 過年度分	5,307,201 円	97.23 %	5,791,464 円	96.98 %
16 全体(計)	217,068,475 円	-	205,297,964 円	-

4 給水装置工事指定業者

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
19	7	16	12	13	9	8	14	5	102	116	218

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)	工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他
入札件数	83/85	22/22	33/35	12/12	18/18	3/3
契約締結	8/8	8/8	8/8	0/0	0/0	0/0
一般	8	8	8	0	0	0
指名	53	8	20	2	17	3
随契	22	6	5	2	1	0
合計	83	22	33	12	18	3

※入札中止 当月 0件:累計 0件/入札不調 当月 0件:累計 2件/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累計	当月件数	内容
竣工検査	10	2	
中間検査	0	0	
合計	10	2	

7 主な行事・会議

会議名	日時	内容
第5回水道事業連絡会議、料金徴収等管理業務委託会議	5日	業務報告、日程確認、業務打合せ、その他
第5回安全衛生委員会	11日	行事計画及び日程調整
給水拠点設置訓練(消防防災センター)	19日	給水タンク設置訓練
公募型プロポーザル説明会	19日	料金徴収、給水装置管理等委託業務
第5回経営分析会議	22日	経営概況、残高試算表、月報、監査復命
資金管理運用委員会	25日	資金運用について
第5回事業調整会議	25日	部長等連絡調整会議復命、日程調整
例月出納検査	26日	月例監査
市総合計画実施計画ヒヤリング	28日	27年度水道事業ヒヤリング
指名委員会	-日	第11回 8/1、第12回 8/7、第13回 8/22
入札	-日	8/8、8/22
緊急メールの発出	-日	漏水 29、水質 7、断水 2、訓練 4 計 42

特記事項

1.8月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

①収益的収支

当期の給水収益は 201,334 千円で、7 月期に比べて 6,501 千円の増で、予算執行率は 42.3%、対前年同月比(税抜き)では 3,764 千円の増、営業外収益は 80 千円で、受取利息と事務手数料となっています。

当期の営業費用は 78,788 千円の執行で、累計額は 303,083 千円、予算執行率は 14.4%、対前年同月比では 403 千円の減となっています。営業外費用は、企業債の償還金利息 58,093 千円を執行しています。

②資本的収支

当期の収入は、補償金 2,436 千円、水道加入金が 2,203 千円、累計で 6,988 千円、予算執行率では 48.8%となっています。

支出は、144,241 千円で、配給水施設整備費の配水管布設事業の工事費に 1,188 千円、調査設計費に 5,864 千円、企業債の元金償還金に 134,463 千円を執行しました。

③たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品、消耗品で 8,299 千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 地域水道ビジョン改訂(案)の答申

上水道事業運営審議会を 8 月 6 日に開催しました。平成 25 年 7 月に審議会に諮問しました地域水道ビジョン改訂(案)について、審議会を 4 回開催、審議の結果、今回答申をいただきました。答申では「市民が安心して暮らせる市の責任による水道事業の確立」のため、職員、市民、民間事業者や関係機関等とそれぞれの役割分担を行い、公民連携を推進すること。水道料金については、次世代へ安定した経営を引き継ぐため、適確な需要予測による財政計画と更新計画を基礎とし、市民の意見を十分に聞きながら、適正な料金改定を検討、実施すること等 4 点の意見が付されています。今後の予定としては、9 月にパブリックコメントを経たのち、公表する予定となっています。



(2) プロポーザル選定委員会を開催

第 1 回水道料金徴収、給水装置管理業務委託プロポーザル選定委員会を 8 月 6 日に開催しました。委員会は、市民代表 2 名、有識者 1 名、市職員 3 名の 6 名の委員で構成され、平成 27 年 3 月 31 日に業務委託が終了する料金徴収等業務委託と給水装置管理業務委託を公募型プロポーザル方式により一体的業務として委託するため、プロポーザル実施要領、実施事務基準、業務仕様書を協議のうえ決定しました。今後の予定は、8 月 8 日に公告、19 日に業務委託説明会を開催、資格審査を経て、9 月に業務提案の受付を開始、10 月に選定委員会を開催し、業者選定を行います。

(4) 決算説明会を開催

平成 25 年度決算概要説明会を 8 月 21 日に午前と午後 2 回に分けて開催しました。水道ブラスター、水道業務受託業者、職員等 40 名が参加、25 年度の経営概況、経営成績、予算執行状況や財政状況、さらには今後の需要予測を見据えての経営環境について、事業所佐藤次長より説明を行いました。



(3) 水道事業計画を変更

平成 27 年度水道事業計画の見直しを行いました。今回の見直しは、市総合計画実施計画のローリングと地域水道ビジョンの改訂に併せてその実現のための具体的推進方法等を実施計画として取りまとめるため、5 事業の内容見直しを行いました。保呂羽浄水場取水施設整備事業は、25 年度に実施した詳細設計により、全体事業費で 2 億 4 千万円増の 28 億円とし、29 年度に供用を開始します。新田配水池築造事業は、25 年度に実施した詳細設計により全体事業費で 6 億円増の 21 億 7 千万円とし、28 年度に供用を開始します。緊急時連絡管整備事業は、27 年度に 3 億 9 千万円で連絡管の布設、緊急遮断弁整備事業は、27 年度に 3 千 2 百万円で米谷配水池に整備、両事業は 28 年度に終了します。ダクタイル鋳鉄管更新事業は、27 年度に 2 億 6 千万円で管更新を実施、今後も計画的に事業を推進します。

平成26年 8月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	910,492	4,442,756	4,274,870	4,486,634	167,886	-43,878
総配水量	863,617	4,233,294	4,097,350	4,339,862	135,944	-106,568
1 有効水量	775,580	3,751,464	3,680,480	3,757,363	70,984	-5,899
(1)有収水量	719,834	3,440,022	3,414,300	3,439,216	25,722	806
(2)無収水量	55,746	311,442	266,180	318,147	45,262	-6,705
2 無効水量	88,037	481,830	416,870	582,499	64,960	-100,669
(1)漏水量	87,362	478,240	415,000	580,610	63,240	-102,370
(2)その他無効水量	675	3,590	1,870	1,889	1,720	1,701
3 有収率	83.35	81.26	83.33	79.25	-2.07	2.01

※当月期の最大配水量は、6日(水)に記録した【31,025m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	178,956	5	65,986	0	0	112,970	37%
イ 浄水施設整備事業	8	132,989	4	51,840	2	1,714	79,435	40%
ウ 配給水施設整備事業	80	1,503,028	38	479,048	8	27,677	996,303	33%
エ 繰越事業	12	274,769	6	120,877	6	139,601	14,291	95%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の条件 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 4)	石越町水系 (測定戸数: 2)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 1)
平均	0.86	0.42	0.38	0.55	0.43
最低	0.80	0.13	0.21	0.30	0.29
最高	0.94	0.70	0.54	0.74	0.50

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H26.8.29	<0.6	<0.7	錦織水系浄水場	H26.8.29	<0.6	<0.7
石越浄水場	H26.8.29	<0.8	<0.6	米谷水系浄水場	H26.8.29	<0.7	<0.9
大萱沢浄水場	H26.8.29	<0.5	<0.7	楼台浄水場	H26.8.29	<0.7	<0.7
米川水系浄水場	H26.8.29	<0.6	<0.6	—	—	—	—

特 記 事 項

1 雷による水道施設への被害発生

落雷により被害を受けた施設は以下のとおりでありました。

発生日	発生施設場所	故障内容等
1日	大萱沢浄水場回線異常	NTT回線の異常
2日	保呂羽配水流量計 (F-1・浄水場出口)異常流量	アイソレータの故障
5日	楼台配水池流量計不良	〃
29日	米山流量計異常	〃

* いずれも落雷によるアイソレータの破損が原因でした。

注) アイソレータとは

通常は計装信号のノイズをカットし安定した信号伝達を図るために設けられるものですが、雷等の異常電流や電圧から計装設備等を保護することができる絶縁器で、今回は、いずれもその効果が証明された形となりました。

保呂羽浄水場中央管理室内に設置されているインターフェース盤外形



計装盤内のアイソレータ



大綱木地区

2 お盆の帰省による大綱木地区の配水量が増大

13日の21時頃、大綱木浄水場の配水池異常低水位警報が発報しました。

その対応に現地へ向かったところ、大綱木浄水場の通常配水量の1.2倍から1.3倍からの使用量の増加していました。水道管の漏水がなかったため、お盆の帰省と重なったための使用量増加と考えられます。

対応として、同日と翌日の2日間に渡り給水車2台(4.0m³)で配水池の補給を実施しました。



3 平成26年度漏水調査の実施 (注:6月から実施)

8月末現在の漏水調査の結果は累計で、(配水管23箇所、空気弁1箇所、給水管45箇所、止水栓2箇所)71件の漏水を発見しています。

4 地震発生状況

登米市内における震度4以上の地震発生はありませんでした。